

事業所名		まつぼっくり				支援プログラム（参考様式）		作成日		2025 年		3 月		25 日	
法人（事業所）理念		「健康なこども」「生命を大切にすることも」「よく見て、よく聞き、よく考えるこども」「みんなの中で自分を力いっぱい表現し、仲間を大切にすることも」の四つの子どものもと、子どもと保護者に寄り添い、「一人ひとりの願いを大切にした、ていねいな保育（療育）」を目指します。													
支援方針		・思いっきり遊ぶこと ・おいしくたくさん食べること ・ぐっすり眠ること													
営業時間			9 時	0 分	15 時	0 分	送迎実施の有無		あり		なし				
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	生活リズムを整えることで、気持ちの安定や意欲の土台を作っていきます。 また、生活面での出来ることを増やしていきながら、できたことに喜びを感じ、自信に繋がっていきます。													
	運動・感覚	思いっきり体を動かす経験を多く取り入れていきます。 変化にとんだ遊び（山登り、石垣登り、鉄棒、バランスボール等）の中で、体を動かす心地よさを感じ、体感や体力をつけていきます。													
	認知・行動	言葉がけが多くならないよう心掛け、自分で気付いて行動できるようにしていきます。 自分と向き合い、考えることを大事にし、できた時には大いに褒め、自信へと繋がっていきます。													
	言語コミュニケーション	友達との関わりの中で、自分の気持ちを言葉にしたり、相手の気持ちを感じたりしながら、友達と良好な関係を築いていけるようにします。 またジェスチャーや手話を取り入れながら、人と関わる心地よさを感じていけるようにします。													
	人間関係社会性	安定した大人との関係を土台に、友達と遊ぶ楽しさを感じられるようにします。 「やりたい」「やりたくない」「ほしい」等、本人の気持ちを大事にしながら、大人や友達とルールのある遊びを展開し、楽しい気持ちや悔しい気持ち等いろんな感情に丁寧に関わっていきます。													
家族支援		必要に応じて保護者と面談を行い、悩みなどを聞きながら療育を進めていきます。					移行支援		入園や入学の際、各施設と連絡を取り合い、子どもの姿を共有していきます。						
地域支援・地域連携		各相談事業所と密に連絡を取り合いながら、療育が必要な子の受け入れや、利用児の姿を共有していきます。					職員の質の向上		月1回、職員を対象にした学習会を行います。 また外部研修に積極的に参加し、他施設との交流を重ねていきます。						
主な行事等		年2回、交流会を行います。 月に1回程度、利用児を対象とした施設開放を行います。													